



## オリーブの志



## 人間性・創造性・社会性

他者へのまなざし・進路の実現

### 校歌

作詞 葛原しげる  
作曲 高田 信一

一、

陽光明るく 風清く  
四時ほがらの この郷土に  
身をねり 鍛えて  
磨くは 知性  
きけや 備南の天地に  
どよむはわれらが 合わす歌声  
誇りの学舎 福山附属



二、

七里七島 五里五島  
おのもおのもの うるわしさ  
のばすは その善さ  
互みに 助け  
遠く七つの 大海と  
瀬戸内海との つらなる如も  
広めん我が名ぞ 福山附属

三、

山は高きに 鮮えつつ  
川は低きに 流れゆく  
山田よ 芦田よ  
久遠の 姿  
いざや文化の 花咲かす  
尊き使命を 永劫に果たさん  
はえある我等ぞ 福山附属



## 福山附属の歩み11

- 11 グローバルリーダーの育成 2015年～2019年  
文部科学省スーパーグローバルハイスクールの指定を受け、「瀬戸内から世界へ世界から備後へ!」を開発課題として、グローバルイノベーションと合意形成を柱にした課題研究などを行なうプログラムを開発し、グローバルリーダー・地方創生リーダーに必要とされる資質・能力の育成を研究している。
- 10 クリティカルシンキングを育成する 2009年～2014年  
サイエンスプログラムを発展・深化させ、クリティカルシンキングを育成するプログラムの開発に取り組み、さらにはこれをベースに据えた持続可能な社会の構築に向けての教育課程の研究開発に取り組んだ。
- 9 思考力を育む教育課程を開発 2007年2月  
2002年3月発行「教科とリンクする『総合的な学習』のデザインと評価」を承けて、「科学的な思考力を育むカリキュラムと教材開発」を同じく東洋館出版社から発行。すべての教科を取り組むサイエンスプログラムを開発・実践し、先進的な科学教育モデルとして高い評価を得た。
- 8 進路指導情報センター完成 2002年4月  
進路指導情報センターを要にした担任・スタッフの指導のもと、福山附属でのあらゆる学習と体験が、生徒一人ひとりの進路を実現する。このセンターのとなりには、進路情報資料が整備された進路情報学習室があり、これを中学生から高校生までが利用できる。
- 7 情報教育センター「ローズ」完成 2002年3月  
一階は5万冊所蔵の図書館、二階には情報処理演習室、情報語学演習室、236人収容のマルチメディアホールなど、最新鋭の施設はフル稼働中。ここからIT社会に対応した学びを創造する。ブロードバンド利用のテレビ会議システムによって遠隔講義も可能。
- 6 教育実習宿泊施設「オリーブ」完成 1985年3月  
広島大学の教育実習は宿泊体験型。教育実習期間外では、生徒もクラス・クラブごとに宿泊可能。
- 5 バラ園の完成 1976年5月  
バラは福山の花。地域に根ざす学校づくりの象徴としてバラの花を咲かせる。
- 4 緑町校舎から春日の丘へ移転 1973年  
新たなキャンパスでの躍進が始まる。土塹の校内の緑化が進む。
- 3 ベルモチャイムも鳴らない学校 1966年4月  
自由・自主を日々の実践に定着させる。校内各所に時計がある。
- 2 6ヵ年一貫教育 1962年4月  
学校運営機構上、中学校・高等学校の区分を廃し、全国の学校に先駆けて中高6ヵ年一貫教育を始める。
- 1 オリーブの校章 1954年11月  
スクールカラーのウルトラマリンはギリシアのエーゲ海の紺碧の海の色、古代ギリシアのデモクラシーの象徴でもあるオリーブとともに福山附属の象徴である。自由・自主の理想を絶えず追いもとめる学校である。校歌も同年制定。